

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2012.09) 平成21年度:63～64.

外来看護師が行なう安全トリアージの視点の検討～あれっトリアージ票を用いて～

小山内美智子、石上 香、藤川かやの、法月章子

# 外来看護師が行なう安全トリアージの視点の検討

## ～あれっトリアージ票を用いて～

外来ナースステーション ○小山内美智子、石上 香、藤川かやの、法月 章子

キーワード：安全 トリアージ 外来看護師

### 1. 緒言

患者の治療は入院から外来に移行し、外来において検査・治療・診断の告知や在宅支援への援助など外来看護が拡大し外来看護師の重要性が高まっています。国立大学法人A大学病院（以下A大学病院）では外来患者数が増加し平成20年度約1400人/日でした。多くの患者の中から変化のある患者・転倒などの危険のある患者を見つけ出し安全に受診目的を果たせるよう援助することが求められます。廣川ら<sup>1)</sup>の研究で外来看護師の能力を6個の能力に分類されその1つに「外来受診中今ここで看護を必要としている患者を見つけ出す能力」が報告されており、A大学病院においてその能力の視点は、多くの患者の中から「あれっあの患者危なっかしい」という看護師の勘のもと患者を要観察トリアージしている場面であると予測しました。その「あれっ」に注目し「あれっトリアージ票」を作成、特に危険予測に対しての患者観察・トリアージする視点を検討し示唆を得たので報告します。

### 2. 研究方法

- 1) どのような状況に「あれっ」と感じているかの声を反映させた「あれっトリアージ票」を作成
- 2) 対象：A大学病院外来に勤務する常勤・短時間非常勤看護師43名で成人の外来患者に活用した「あれっトリアージ票」197件
- 3) データー収集期間：2008年10月～2009年4月
- 4) データー分析方法  
「あれっトリアージ票」の項目別集計
- 5) 倫理的配慮

研究目的・意義を対象看護師に説明し協力を得た。研究以外には用いないこと、個人が特定されないよう統計処理をし同意を得た。同意しない場合も個人に不利益が生じないことを保証した。

### 4. 結果

#### 1) 「あれっトリアージ票」作成

「あれっ」と感じている状況は「高齢者」「杖歩行」「車椅子」「理解力の低下」「難聴」「視力障害」などでこれは、

A大学病院で使用している「転倒・転落スコアシート」（以下スコアシート）の項目に一致していました。しかし「初来院」「服装の乱れ・季節感がない」など外来ならではの状況にも注目しておりA大学病院使用既存のスコアシートにこれらを大項目・小項目に取り入れ大項目9、小項目それぞれ2～8項目で「あれっトリアージ票」を作成した。「あれっトリアージ票」は該当する項目が複数ある場合はすべてにチェックがされます。

#### 2) 197件の「あれっトリアージ票」の集計結果。

大項目「1年齢、2既往歴、3感覚、4活動領域、5認識力、6薬剤、7排泄、8自覚・変化、9サポート」では「4活動領域」「9サポート」「1年齢」の順に多く小項目では、「1年齢」の中の「60歳以上」が168件（85%）で最も多く、次に「4活動領域」の「車いす・杖・歩行器」（131件・66%）「足腰の弱り」（105件・53%）「9サポート」の中の「一人で来院」（81件・41%）に多くチェックされていました。

### 5. 考察

#### 1) トリアージの視点

外来看護師が多くの外来患者の中から「外来受診中今ここで看護を必要としている患者を見つけ出す能力」としている患者観察の視点では、その注目すべき項目とその順番が重要です。患者を見た瞬間「あれっ」と感じ危険を察知できる項目の活動領域、特に「補助具の使用、歩行状態」「年齢」でありそのうえで、サポートの中の「一人で来院」に注目することが安全に受診目的を果たせるよう援助することにつながると言えます。

逆に「あれっ」と感じない項目は「薬剤・既往歴感覚」などでチェックされている件数は少ない結果でした。この項目は患者さんを見た瞬間の短時間では情報収集ができないためであり妥当な結果と言えます。

#### 2) 患者の安全管理に対する看護師教育

A大学病院外来では「あれっ」という看護師の勘によりそれぞれの看護師の経験・能力に委ねられていました。今回の「あれっトリアージ票」を用いて「あれっ」の視点を可視化したことで外来患者の安全を保証する看護の質の向上を図る上で有効と言えます。

## 6. 結論

- 1) 外来における安全のトリアージの視点は、「補助具の使用、歩行状態」「年齢」でありそのうえで、サポートの中の「一人で来院」である。
- 2) 外来患者の安全を保証するためには、「あれっ」という視点が同じくできるように外来看護師教育が必要である。

## 引用文献

- 1) 廣川恵子 看護実践から見出した外来看護師の能力  
日本赤十字広島看護大学紀要 8, 21-29